

- 問1 16世紀半ばに種子島へ伝来した鉄砲は、その後の日本の戦い方を大きく変えることとなりました。鉄砲の普及が戦国時代の社会や軍事面に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- 鉄砲の製造が困難であったため、京都周辺の限られた大名だけが勢力を伸ばした
 - 武器の威力が向上したため、平地での戦闘を避けて山城にこもる戦術が一般的になった
 - 騎馬武者の一騎打ちが重視されるようになり、個人の武勇がより重んじられた
 - 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した
- 問2 戦国大名が制定した「分国法」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- 明治政府が近代的な国家を樹立するために、国民の権利と義務を定めた。
 - 領国を独自に統治するため、家臣同士の喧嘩を両者とも処罰する規定などを盛り込んだ。
 - 江戸幕府が全国の名を統制するために、城の修理を制限することなどを目的とした。
 - 鎌倉幕府が御家人同士の土地争いを公平に裁判するために、源頼朝以来の先例をまとめた。
- 問3 戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため
 - 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため
 - 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため
 - 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため
- 問4 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。
 - ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先選ばれた。
 - 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。
 - ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。
- 問5 戦国時代において、下の身分の者が上の身分を圧倒する「下剋上」の風潮が広まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。
 - 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。
 - 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。
 - 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。
- 問6 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の戦国時代の戦い方や社会にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- 弓矢や刀剣が全く使われなくなり、すべての兵士が鉄砲のみを装備して戦うようになった
 - 足軽による集団戦法が普及し、強力な攻撃を防ぐために城の造りがより堅固になった
 - 騎馬武者による一騎打ちが戦いの主流となり、個人の武勇がより重視されるようになった
 - 鉄砲の製造に高度な技術が必要だったため、戦国大名同士の争いが一時的に停止した
- 問7 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- 佐渡金山
 - 足尾銅山
 - 石見銀山
 - 生野銀山
- 問8 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- スペイン人
 - イギリス人
 - オランダ人
 - ポルトガル人
- 問9 戦国時代の九州において、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易の利益を得ることを目的の一つとして、みずからキリスト教に入信し、宣教師を保護した大名を総称して何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- 守護大名
 - 戦国大名
 - 寄親
 - キリシタン大名
- 問10 戦国大名が「分国法」を制定した主な目的として、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- 自らの領国における家臣同士の私的な争いを禁じ、大名による統治を強化するため。
 - 朝廷の権威を借りて、隣接する他の領国を経済的に圧迫するため。
 - 鉄砲の伝来に伴い、全国共通の武器使用ルールを室町幕府が定めるため。
 - 開墾した土地を永久に私有することを認め、農業生産力を高めるため。
- 問11 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景の中、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峯を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- マゼラン
 - バスコ＝ダ＝ガマ
 - コロンブス
 - マルコ＝ポーロ
- 問12 戦国時代において、戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や民衆を統治するために独自に制定した法律を何と呼びますか。江戸時代に幕府が定めた武家諸法度とは異なり、各大名が自分の領土の実情に合わせて定めたものを指します。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- 公事方御定書
 - 御成敗式目
 - 武家諸法度
 - 分国法
- 問13 16世紀に起きた「ルターによる宗教改革の開始」「イエズス会の設立」「フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来」という3つの出来事について、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来
 - フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立
 - イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始
 - ルターによる宗教改革の開始 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → イエズス会の設立
- 問14 15世紀後半から約11年間にわたって京都を中心に続き、その後の略年表において「下剋上」の風潮が全国に広まるきっかけとして記される戦乱はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- 応仁の乱
 - 壬申の乱
 - 承久の乱
 - 観応の擾乱